

春の 便りから

清掃だより

No. **38**

福生市・市民部環境防災課発行
H2. 3. 25

● 陽気が良くなると、人の活動も活発になります。そのために排出されるごみも冬の時期に比べると大変多くなります。街を散歩すると、路上にごみが氾濫しています。

出し方がきれいであれば、仕方ありませんが、分別してなかったり、決められた日以外に出したり、犬や猫に食いつけたりしていると、もうどうしようもありません。これで風が吹けば街中ごみだらけになってしまいます。

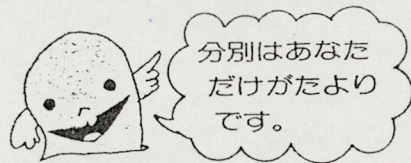
● 近年盛んに言われている生活環境や都市美とは逆行してしまいます。街をきれいにするためには、みなさんの協力が不可欠です。それ無しには達成することはできません。

また、日曜日を利用して市内を散策すれば、まだ武蔵野台地の面影を残すところも多くあります。

しかし、こういった所にも心ない人によるごみの投げ捨てがあり、せっかくの景観がそこなわれてしまいます。

そこで、裏面にごみの出し方を載せておきますので再度確認してください。





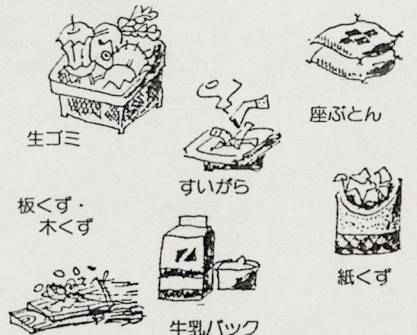
ゴミの出し方

▶ 問い合わせ先
福生市市民部環境防災課
☎51-1511

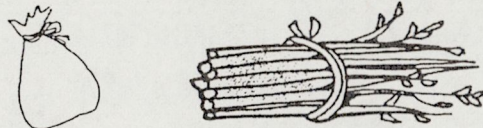
保存用

燃えるゴミ 毎日 日曜・祝祭日を除く

- 台所のゴミ（料理くず・残飯・果物の皮・茶がら等）
- 板くず・紙くず・落葉・草・小枝
- ポ口布



- フタ付きのポリバケツで出してください。
- 生ゴミはよく水を切ってください。
- 小枝・板くずは長さ50cm以下にして束ねて何回かに分けて出してください。
- 竹くしなどの先のとがったものは先を折るなどして出してください。
- 紙袋で出す場合は袋の口をしっかり結んでください。

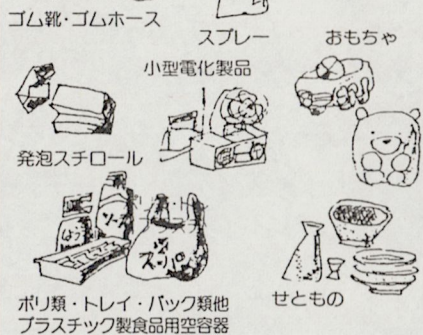


ゴミは朝8時までにはゴミ収集所へ!!

燃えないゴミ 週1回

火曜地区
水曜地区
木曜地区

- ビン・カン
- ガラス・せともの・おもちゃ
- プラスチック類・発泡スチロール



- フタ付きのポリバケツまたはビニール袋で出してください。
- 割れたビン・ガラスなどは危険のないようにしてください。
- スプレー類は中を空にして穴をあけて出してください。
- 1斗缶等はつぶして束にして出してください。
- 生ゴミ・紙くずなどは混合させないでください。
- 燃えるゴミと少しはなして出してください。



1斗缶は
つぶして

もう一度確認して、ゴミを正しく出しましょう。

分別して決められた日時に出しましょう。

有害ゴミ 週1回 “燃えないゴミ”の収集日に収集所へ

- 乾電池・蛍光管
- 水銀温度計



- 「有害ゴミ」は燃えるゴミ・燃えないゴミから少しはなして出してください。
- 中身の見えるビニール袋に入れるか、中身の見えないビニール袋に入れる場合は、「有害ゴミ」と書いて出してください。

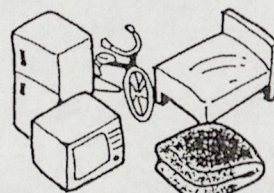


または

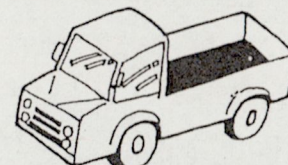


粗大ゴミ 有料 電話・窓口で 随時受付

- 家電製品・家具
- 寝具類・自転車
- ジュータン
- 50cm以上のもの
- 一時的に多量に出るゴミ（引越しゴミ・大掃除のゴミなど）



- 収集しやすい場所に出してください。（2階建て以上の集合住宅にお住まいの方は1階へ降ろしておいてください。）
- 新品と買い替えるときはできるだけ業者に引取らしてください。
- お申込はお早目に電話してください。
- 1kgにつき15円の手数料です。



引越しのあとかたづけは…

この季節になりますと、引越しや家の中の片づけなどで、粗大ごみ（多量ごみ）を申し込む方が急に多くなります。（別表参照）

そこで粗大ごみを申し込む場合には、次の点に気をつけて下さい。

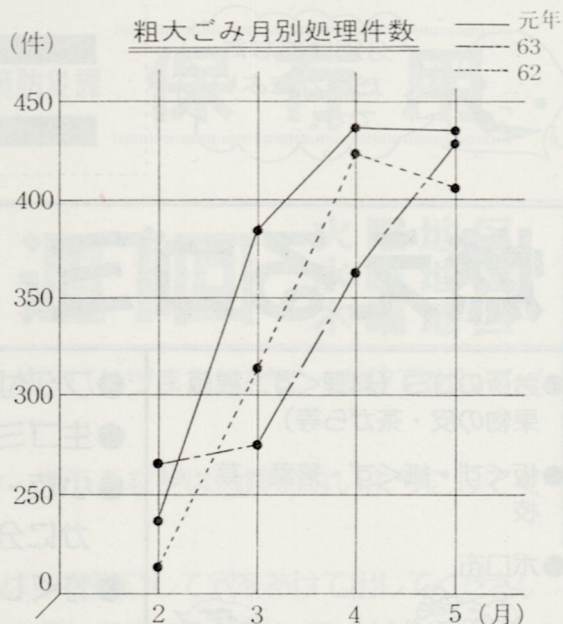
①品物を可燃ごみ、不燃ごみに分けて整理しておいて下さい。

(2)廃品回収や一般の収集に出せるものは出して下さい。

(3)品物は、車に積みやすい場所に

出しておいて下さい。特に2階建て以上のアパート等にお住まいの方は、1階に降しておいて下さい。

(4)申し込まれたその日に収集することは現在の状況からは困難です。ですから余裕をもって申し込んで下さい。



〈ちょっといい話…〉

ごみの山を夢の島と言うのはなぜでしょう。それはみなさんが何かほしいものがあったても、なかなか買えなかったものがあるとしたら。もう夢に見るほどほしいと思っていたものをやっと買うことができました。けれども何年かたつともうあきてしまって、それはごみ箱に捨てられたり、押入れのすみの方に行って、いずれごみになってしまいます。つまりごみと言うのは、きっと自分が思ったときに手に入った夢のかけらの部分なのです。その夢のかけらがごみになっているので、人はごみの山を夢の島と言ったのです。

ロマンチックな話ではないですか。

編集後記

今年は例年になく雪どけが早く、さぞかし残念がっている人も多いことでしょう。雪がとけ、大地に新しい緑が出始めるころに、街にも冬の長い眠りから覚めたように、ごみがあふれ出ます。毎年のことですが、このまますと眠り続けていてくれたらどんなによいものだろうと思う今日このごろです。